

安全データシート

作成日 1995年 9月 1日 (第1版)

改訂日 2026年 6月 18日 (第4版)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品の名称 : 氷酢酸 P

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : 健栄製薬株式会社

住所 : 大阪市中央区伏見町2丁目5番8号

担当部署 : 学術情報部

電話番号 : 06-6231-5822

FAX 番号 : 06-6204-0750

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 水垢落とし、トイレの消臭対策、お掃除に

使用上の制限 : 推奨用途以外には使用しないこと

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

【物理化学的危険性】

引火性液体 : 区分 3

【健康に対する有害性】

急性毒性 (経皮) : 区分 4

皮膚腐食性/刺激性 : 区分 1

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分 1

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 1 (血液、呼吸器系)

【環境に対する有害性】

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分 3

注) 上記の GHS 分類で区分の記載がない危険有害性項目については、「区分に該当しない」又は「分類できない」に該当する。

GHS ラベル要素

【絵表示又はシンボル】



【注意喚起語】

危険

【危険有害性情報】

引火性液体及び蒸気 [H226]

皮膚に接触すると有害 [H312]

重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷 [H314]

重篤な目の損傷 [H318]

臓器の障害 (血液、呼吸器系) [H370]

水生生物に有害 [H402]

【注意書き】**【一般注意】**

- ・医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルをもっていくこと。[P101]
- ・子供の手の届かないところに置くこと。[P102]
- ・全ての指示をよく読み、従うこと。[P103]

【安全対策】

- ・熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。[P210]
- ・容器を密閉しておくこと。[P233]
- ・容器を接地しアースをとること。[P240]
- ・防爆型の電気/換気/照明機器を使用すること。[P241]
- ・火花を発生させない工具を使用すること。[P242]
- ・静電気放電に対する措置を講ずること。[P243]
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。[P280]
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。[P260]
- ・取扱い後は手及び汚染箇所をよく洗うこと。[P264]
- ・取扱い後は手及び汚染箇所をよく洗うこと。眼を触らないこと。[P264+P265]
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。[P270]
- ・環境への放出を避けること。[P273]

【応急措置】

- ・火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。[P370+P378]
- ・皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。[P302+P352]
- ・医療処置を受けること。[P317]
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。[P362+P364]
- ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。[P301+P330+P331]
- ・皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。すぐに水で数分間洗うこと。[P302+P361+P354]
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。[P363]
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。[P304+P340]
- ・すぐに救急の医療処置を受けること。[P316]
- ・眼に入った場合：すぐに水で数分間洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。[P305+P354+P338]
- ・ばく露又はその懸念がある場合：すぐに救急の医療処置を受けること。[P308+P316]

【保管】

- ・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。[P403+P235]
- ・施錠して保管すること。[P405]

【廃棄】

- ・内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。[P501]

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質

化学名又は一般名 : 酢酸 (別名 ; 氷酢酸)

成分名	CAS 登録番号	含有量	化審法番号
酢酸	64-19-7	99.0%以上	2-688

注記：この値は製品規格値ではありません。

GHS 分類に寄与する成分 : 酢酸

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 すぐに救急の医療処置を受けること。
皮膚に付着した場合	: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。すぐに水で数分間洗うこと。 多量の水で洗うこと。 すぐに医療処置を受けること。
眼に入った場合	: すぐに水で数分間洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 医療処置を受けること。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 医療処置を受けること。

5. 火災時の措置

【消火剤】

適切な消火剤	: 粉末、泡（耐アルコール泡）、炭酸ガス、乾燥砂を使用する。
使ってはならない消火剤	: 棒状放水

【特有の危険有害性】

火災時の特有の危険有害性	: 火災によって刺激性、有毒及び／又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
--------------	---------------------------------------

【消火を行う者への勧告】

特有の消火方法	: 情報なし
消火活動を行う者の特別な	: 防火服、防災服、耐火服を着用する。
保護具及び予防措置	保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面等を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	: 関係者以外の立入りを禁止する。 高濃度の蒸気にさらされないように適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	: 漏出物が河川等に排出され、環境に影響を及ぼさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法 及び機材	: 液体は乾燥砂などに吸収させ、容器に回収する。 固体（結晶塊）は容器に回収する。
二次災害の防止策	: 漏出物を速やかに回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

技術的対策	: (取扱者のばく露防止) 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 (火災・爆発の防止) 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。 防爆型の電気/換気/照明機器を使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する措置を講ずること。 火気の近くでは使用しないこと。 一度に大量に使用しないこと。
安全取扱注意事項	: 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 取扱中は飲食、喫煙してはならない。 眼に入らないようにする。

接触回避	: 炎、火花又は高温体との接触を避ける。
衛生対策	: 取扱い後は手や汚染箇所をよく洗うこと。 眼を触らないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

【保管】

安全な保管条件	: 容器を密閉しておくこと。 換気の良い場所で保管すること。 直射日光の当たらない涼しいところに置くこと。 施錠して保管すること。 子供の手の届かないところに置くこと。
安全な容器包装材料	: この製品の容器を使用する。 他の容器に入れ替えない。

8. ばく露防止及び保護措置**【管理指標】**

管理濃度	: 濃度基準値 15ppm
許容濃度	: 日本産衛学会の許容濃度 10ppm (25mg/m ³)

【ばく露防止】

設備対策	: 適切な換気のある場所で取扱う。 洗眼設備を設ける。 手洗い／洗顔設備を設ける。
保護具	: 厚生労働省が公表している「皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアル」等を参考にする。 (呼吸用保護具) 呼吸用保護具（蒸気の吸入が避けられるもの）を着用すること。 (手の保護具) 耐酸性かつ不浸透性の化学防護手袋を着用する。 (眼、顔面の保護具) ゴーグル型の保護眼鏡、フェイスシールドを着用する。 (皮膚及び身体の保護具) 耐酸性かつ不透過性の化学防護服を着用する。
衛生対策	: 取扱い後は手や汚染箇所をよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 結晶塊～液体
色	: 無色～白色
臭い	: 刺激性の特異な臭い
融点／凝固点	: 約 16.5℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 118℃
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／	: (爆発範囲)
可燃限界	下限 6.0vol% 上限 17vol%
引火点	: 39℃
自然発火点	: 485℃

分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: (水に対する溶解性) 溶ける
n-オクタノール/水分配係数	: log Pow = -0.17
蒸気圧	: 1.5kPa (20°C)
密度及び/又は相対密度	: 約 1.05 (20°C)
相対ガス密度 (空気=1)	: 2.1
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 所定の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	: 強酸化性物質と激しく反応し、火災や爆発の危険を生じる。 強酸や強塩基性物質と激しく反応する。 ある種のプラスチック、ゴム、被膜剤を侵す。
避けるべき条件	: 混触危険物質との接触 火源との接触
混触危険物質	: 強酸、強塩基、強酸化性物質
危険有害な分解生成物	: 炭素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性 (経皮)	: [製品] 区分 4 (皮膚に接触すると有害) [成分データ] ウサギ LD50=1060mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	: [製品] 区分 1 (重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷) [成分データ] ウサギあるいはモルモット 重度の熱傷と痂皮形成
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: [製品] 区分 1 (重篤な眼の損傷) [成分データ] ウサギ眼で破壊的損傷、ヒト眼で角膜混濁や虹彩炎
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: [製品] 分類できない [成分データ] データ不足により分類できない
生殖細胞変異原性	: [製品] 分類できない [成分データ] データなし
発がん性	: [製品] 分類できない [成分データ] データ不足により分類できない

生殖毒性	: [製品] 分類できない [成分データ] データなし
特定標的臓器毒性	
単回ばく露	: [製品] 区分1 (臓器の障害 (血液、呼吸器系)) [成分データ] ヒトで大量摂取により重度の溶血などの報告あり ヒトで吸入曝露により呼吸器系への刺激、気道腐食性などの報告あり
反復ばく露	: [製品] 分類できない [成分データ] データ不足により分類できない
誤えん有害性	: [製品] 分類できない [成分データ] データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期 (急性)	: [製品] 区分3 (水生生物に有害) [成分データ] 甲殻類 (オオミジンコ)48 時間 EC50=65000µg/L
水生環境有害性 長期 (慢性)	: [製品] 区分に該当しない [成分データ] 急速分解性があり、生物蓄積性が低いと推定される
残留性・分解性	: [成分データ] 急速分解性あり (BOD による分解度: 74%)
生物蓄積性	: [成分データ] log Pow = -0.17
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

【化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報】

化学品 (残余廃棄物)	: 環境への放出を避けること。
汚染容器及び包装	: 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

14. 輸送上の注意

【国際規制】

国連番号、国連分類

国連番号	: 2789
品名 (国連輸送名)	: 氷酢酸又は酢酸溶液、濃度が 80 質量%を超えるもの
国連分類	: 8
副次危険性	: 3
容器等級	: II

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当)	: 非該当
-----------------	-------

【国内規制がある場合の規制情報】

船舶安全法	: 腐食性物質 分類 8
航空法	: 腐食性物質 分類 8

15. 適用法令

【当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令】

労働安全衛生法	: 名称等を表示・通知すべき危険物及び有害物 酢酸 (規則別表第 2 の 592) 皮膚等障害化学物質 (規則第 594 条の 2) 皮膚刺激性有害物質 腐食性液体 (規則第 326 条) 危険物 (施行令別表第 1 の四 引火性の物)
化学物質排出把握管理促進法	: 該当しない
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
消防法	: 危険物 第 4 類 引火性液体、第二石油類、水溶性液体、危険等級 III (指定数量 2,000L)

16. その他の情報

【参考文献】

JIS Z 7253:2025
JIS Z 7252:2025
NITE 化学物質総合情報提供システム
許容濃度等の勧告 (2025年度) (日本産業衛生学会)
Supplier's data/information

【責任の限定について】

本記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであり、特殊な取扱いの場合には用途に適した安全対策を実施の上でご利用下さい。記載内容は情報提供であって保証をなすものではありません。
